

# 令和三年度 全国納税貯蓄組合連合会優秀賞

## 人々を救う、「復興特別税」

大淀町立大淀中学校 三年 田中 千遥

私は税金についてあまり知識がありません。だから私は、税金について調べてみることにしました。すると、調べた中に目に留まる税の名前がありました。それは、「復興特別税」です。この税は、東日本大震災の復興を手助けする税です。なぜ目に留まったかということちょうど二十四時間テレビで東日本大震災について放送していたからです。私はその大震災が起きた時の記憶はありませんが、十年経過した今でも、その影響が続いていると知って、とても驚きました。でも、地元の人たちはとてもやさしくて、震災の被害にあったとは思えないくらい、明るい人ばかりでした。地元で震災が起きても復興作業を行う人を見て、

「すごく地元愛があるんだな。」

と感動しました。そんな人たちに復興のため税を納めるということは、まるで被災地の人たちと心が一つになっているみたいで、とても素敵だと思いました。そしてこの税は、人の心を温かくしてくれる税だなと思いました。しかしこの税は、大人の給料の所得税の一部にあり、子供が納めることはできないのです。でも、子供でもできることがあります。それは、「募金」です。以前、ある店で募金の箱を見かけました。私は、自分のお金が減ってしまうので、お金を入れようか迷いました。でも、同じ人間が困っていることを知っていたので、募金をしました。そして、二十四時間テレビで、復興作業はまだ続いているということを知って、

「今度も、絶対募金しよう。」

という気持ちになりました。やっぱり、募金をすると、自分も、被災地の方々も良い気持ちになります。世界でも、このような支援活動を行えば、世界がもっと平和になって、世界中が一つにつながるができると思います。だから、募金と特別復興税は、とても似ていると思いました。

税金の一部しか調べていないので、まだ詳しくは税金について分かりませんが、一つ分かったことがあります。それは、必ず人の役に立っているということです。税金によって被災地とそこに住んでいる人たちが助けられるのは、とても良いことだと思います。

「困ったときはお互い様」

まさにこの言葉が、復興特別税と結びつけられる言葉だと、東日本大震災と、この税が教えてくれました。今はコロナ禍で、なかなか復興作業の手伝いは難しいけれど、コロナが終息したら、必ず被災地で復興作業を手伝いたいと思いました。そして私が将来大人になって、税を納めるようになったら、

「税を納めるたびに、人の役に立っているんだ。」

ということを胸に刻んで税を納めたいと思います。